

スマートシティで描く 暮らしとまちの未来

2023/10/24

間瀬

目次

1. スマートシティの概要
2. 津山市の取り組み
3. スマートシティの重要性
4. 事例紹介
5. スマートシティの現状と課題
6. まとめ

Digital Business Consultant 間瀬 正康

2002年 ● **NTTドコモ 情報システム部 7年半**

料金システム再構築、社内データセンター、人事・給与 等

2009年 ● **中部電力 情報システム部 5年半**

営業販売システム再構築、域外供給、CRMシステム企画 等

2015年 ● **愛知製鋼 ITマネジメント部 7年半**

DX認定、DX企画構想、DX人材育成、工場BPR、RPA等

<副業・兼業>

2021年 ● **岡山県(県庁) DX推進ディレクター**

津山市 デジタル社会推進アドバイザー
(市役所) 兼 **みらい戦略ディレクター**

自治体DX推進計画(総務省)、
デジタル田園都市国家構想(内閣官房、デジタル庁)

2022年 ● **富士通 DX Business Consultant**

DX推進企画・構想・実行のための伴走・支援

2023年 ● **総務省 「地方公共団体のDX」アドバイザー**

情報システムの標準化・共通化、BPR・業務改革、
デジタル人材の育成

● **Redgelinez Process Design**



2021年 DXオフィサー認定
(第0001号)

ITストラテジスト、プロジェクトマネージャ、システムアーキテクト、
システム監査技術者、テクニカルエンジニア (DB)、ITサービスマネージャ

My Purpose	“挑戦”の楽しさを体現し、 共感の輪を拡げていく
-------------------	-----------------------------

私の強み	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大～小規模まで、事業会社の情報システム、組織風土、人材育成などの困りごとが胸が痛くなるほどよくわかる ・ 「“趣味＝DX”の知識」、「20年間の社内SE経験」を活かした実現性の高いご提案 ・ 変革を楽しめるパーソナリティ 	

目次

1. スマートシティの概要
2. 津山市の取り組み
3. スマートシティの重要性
4. 事例紹介
5. スマートシティの現状と課題
6. まとめ

1. スマートシティの概要

スマートシティとはなにか？ ～定義と現状～

定義

- ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）の高度化により「手段」
- 都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、「動作」
- 持続可能な都市や地域であり、Society 5.0の先行的な実現の場である。「状態」

スマートシティ
サービス群
(例)



ICTを活用した
e-Learning、
遠隔教育の充実



地域の見守りを
支援し、安心・
安全な街を実現



災害の情報を即時に
取得・発信し、迅速な
避難・復旧を実現



いつでもどこでも
必要な移動・配送
サービスを提供



エネルギー、上下水、
リサイクルなどを
地域内で最適管理



キャッシュレス社会を
実現し、取引を
デジタルで完結



ICTデータの
活用により、
健康寿命を延伸

オープンAPI連携

スーパーシティを起点に全国共通的なデータ連携基盤の整備

連携

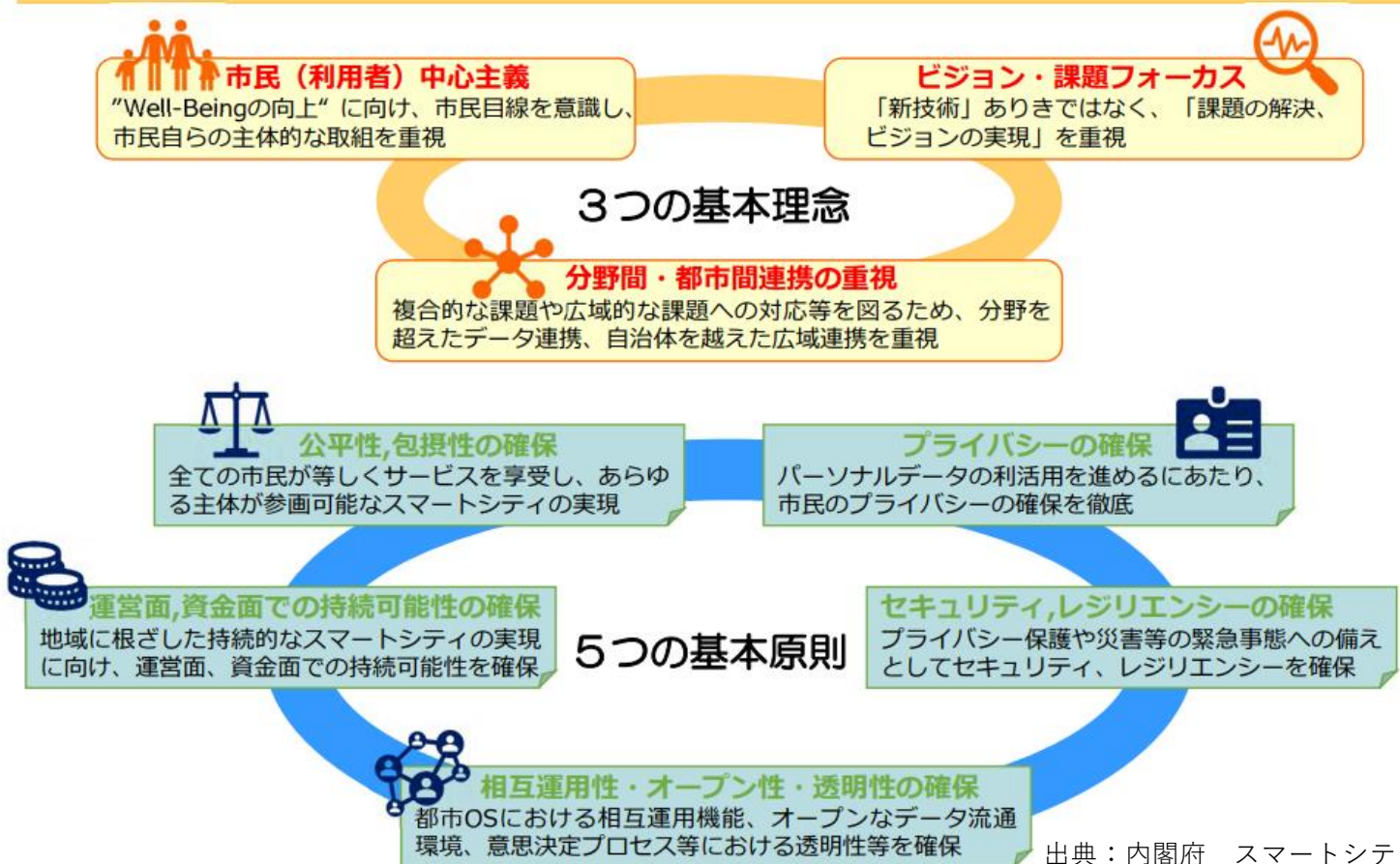
IT新戦略等に基づくデジタル・ガバメント実現や、データ連携基盤整備の取組

基盤整備

1. スマートシティの概要

スマートシティに取り組む上での基本コンセプト

3つの基本理念、5つの基本原則を提示し、これらに基づくスマートシティ構築を推奨



目次

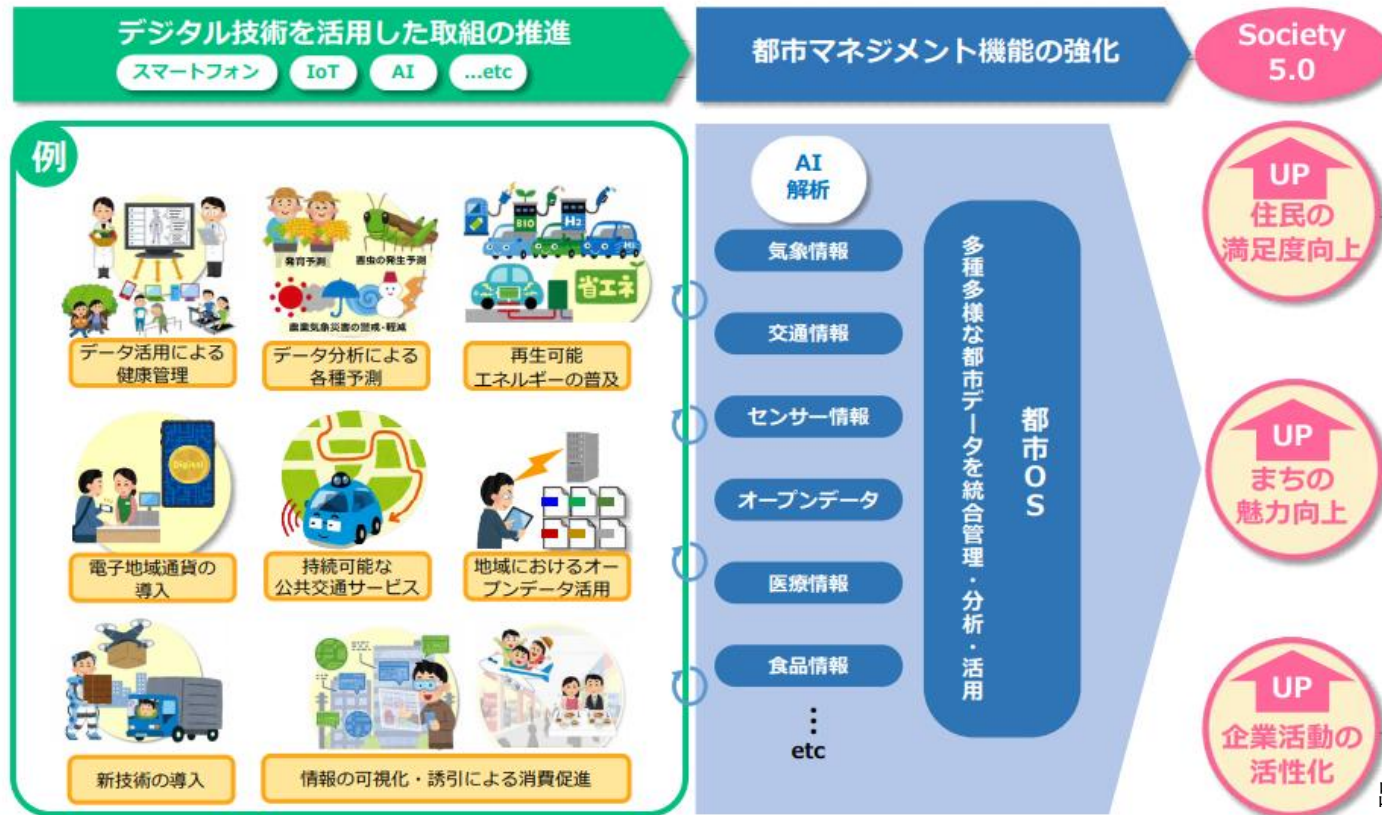
1. スマートシティの概要
2. 津山市の取り組み
3. スマートシティの重要性
4. 事例紹介
5. スマートシティの現状と課題
6. まとめ

2. 津山市の取り組み

3. スマートシティ事業の内容

津山市スマートシティ構想の目指す将来像

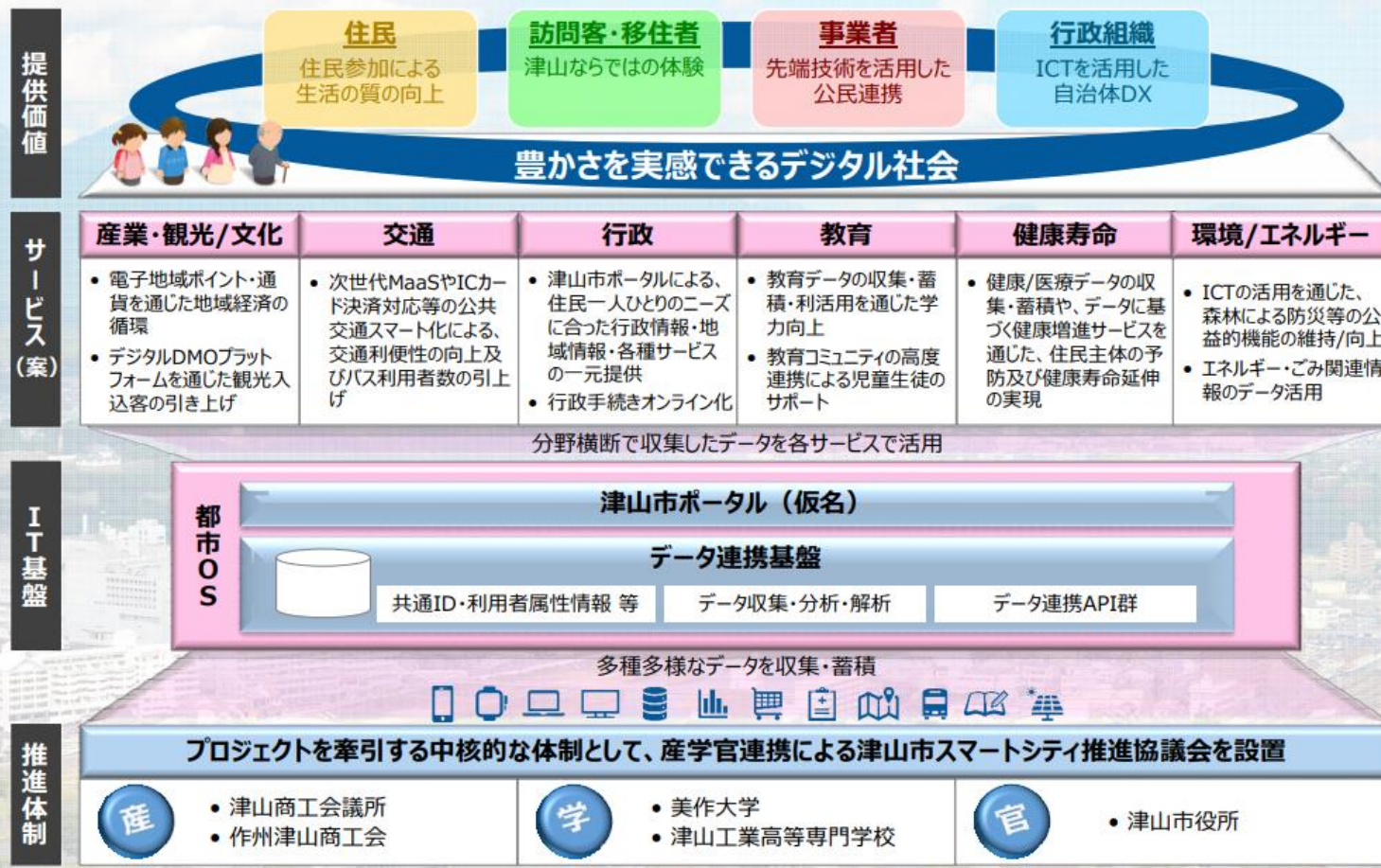
少し先の未来の、便利で快適な技術や仕組みを、いち早く生活に実装する環境を整備し、新たな価値を創造し続け、将来にわたって「住みたい」と感じられる便利で快適なまちを目指します。



出典：津山市スマートシティ構想

2. 津山市の取り組み

3. スマートシティ事業の内容 津山市スマートシティ構想全体デザイン

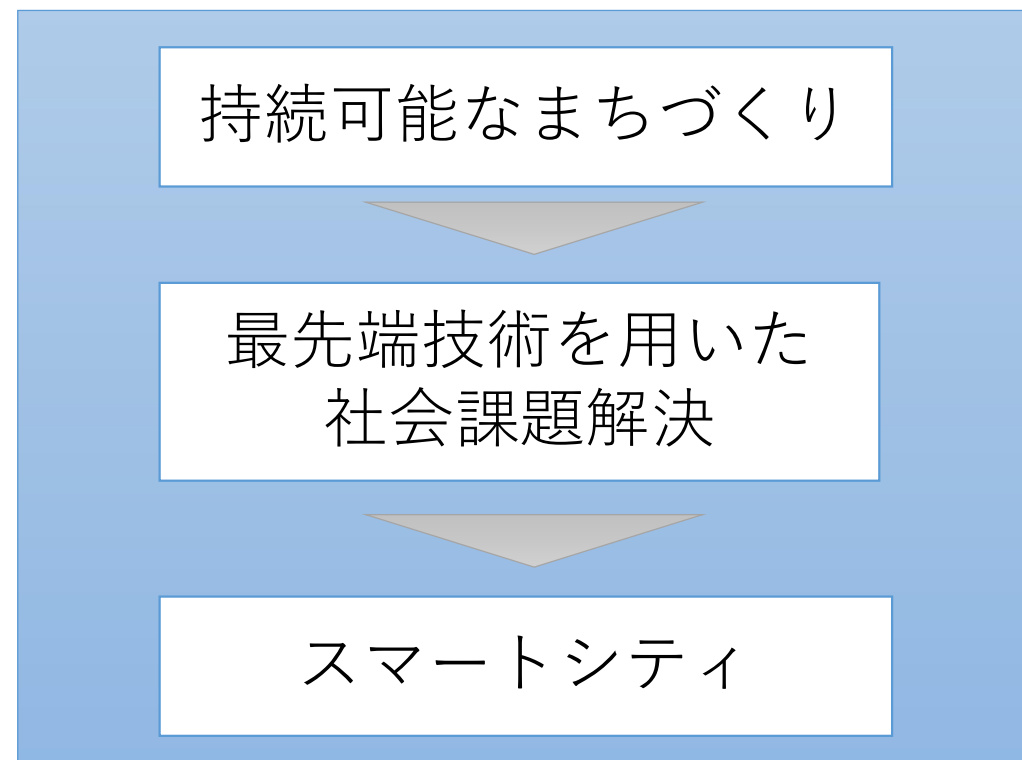
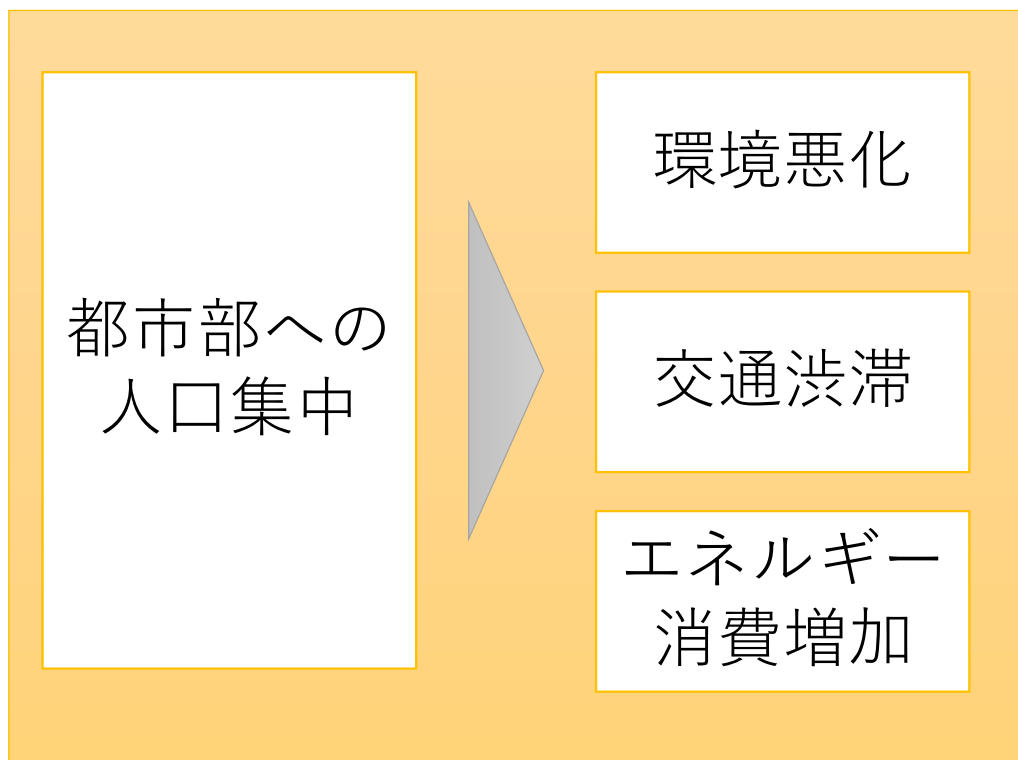


目次

1. スマートシティの概要
2. 津山市の取り組み
3. スマートシティの重要性
4. 事例紹介
5. スマートシティの現状と課題
6. まとめ

3. スマートシティの重要性

- ・なぜスマートシティが重要か？



スマートシティがもたらすメリット

社会インフラの向上

林業、農業、都市計画・まちづくりと建設業での生産性向上、水道など老朽インフラの改善、EV（電気自動車）の充電インフラの充実など

エネルギー効率の向上

再生可能エネルギーやクラウドの活用により、都市全体のエネルギー効率の向上につながる

災害対策の強化

IoTによる多点観測で自然災害の状況を監視し、被害状況と避難所の位置をリアルタイムで状況把握。AIによる自然災害予測も期待される

見守りによる安全・安心

街中や施設に設置したセンサーやカメラ映像の膨大なデータから、AI等を活用したデータ分析により、人々の安心・安全に必要な情報を取得

交通渋滞の緩和

道路に設置したセンサーからリアルタイムでデータを収集・分析。交通量の測定や予測、信号機コントロールによる交通渋滞の緩和、事故防止

生活の質の向上

災害に強い街づくりや快適な移動、キャッシュレス社会、環境に配慮した都市空間を実現

スマートシティの注意点

システム障害のリスク

大規模なシステム障害が起こると都市機能が停止する恐れあり。障害発生時に使用する予備サーバ、予備回線の事前確保が重要

プライバシー上の懸念

カメラやセンサーで住民の情報が収集されるため、プライバシー侵害が懸念。収集した個人情報が流出しないよう対策が必須

サイバー攻撃のリスク

IoT機器が散在し、常にサイバー攻撃のリスクにさらされる。守るべきデータや機能の特定、セキュリティ体制の整備が必要

導入コストが高い

システム設計や通信環境の整備、最先端技術の導入が必要となり、初期費用、維持費用が高額。導入前に費用対効果を慎重に検討要

スマートシティ参画における企業のメリット

- スマートシティは、社会課題の解決や持続可能な社会の実現に貢献するとともに、新たなビジネスチャンスの創出にもつながる



社会課題解決型ソリューション
を中心とする新事業ブランド
「ユーブンス」の売上高を今後
3年間で現行比3・5倍の70
00億円、30年度には1兆円
超を目指す方針を公表

- スマートシティ参画は、ブランドイメージ・社会的評価向上、多様な団体とのパートナーシップ構築、イノベーション創出、人材育成（社員のモチベーション、スキルアップ）のメリットもある

スマートシティ参画における企業のメリット

NTT西日本
あしたへーwith you, with ICT.

法人のお客さま | 個人のお客さま

法人向けサイト | サービス | ソリューション | 業種

Smart Town

スマートタウン

いま、日本社会は大きな岐路にたっている。
ヒト・モノ・情報をICTでつなぎ、
様々なデータを活用することで
住民目線の新しいサービスが共創されていく。
すみやすく、サステナブルな街へ

日立のスマートシティ ~自治体を中心としたまちづくり~

人々の生活の中で生まれる多種多様なデータ。
日立はこれらのデータを活用し、人々の暮らしに還元できるまちを考えています。
地域が抱える、高齢化、少子化、人口減少、インフラ老朽化など
さまざまな課題解決を、デジタルの力でサポートします。

SoftBank | 法人のお客さま

法人トップ | Special | ソリューション | サービス | 導入事例

Smart City Takeshiba

Smart City Takeshiba
3.0

他都市連携
竹芝地区と他都市が連携

NECの目指すスマートシティ

世界に誇れる「地域らしい」まちの進化

地域固有の「らしさ」と新しい「らしさ」を組み合わせ、人々が安心して生き生きと暮らし続けられるまちへ



経済基盤の
活性化



住む人・集まる人の
QOL向上



地域特有課題の
解決

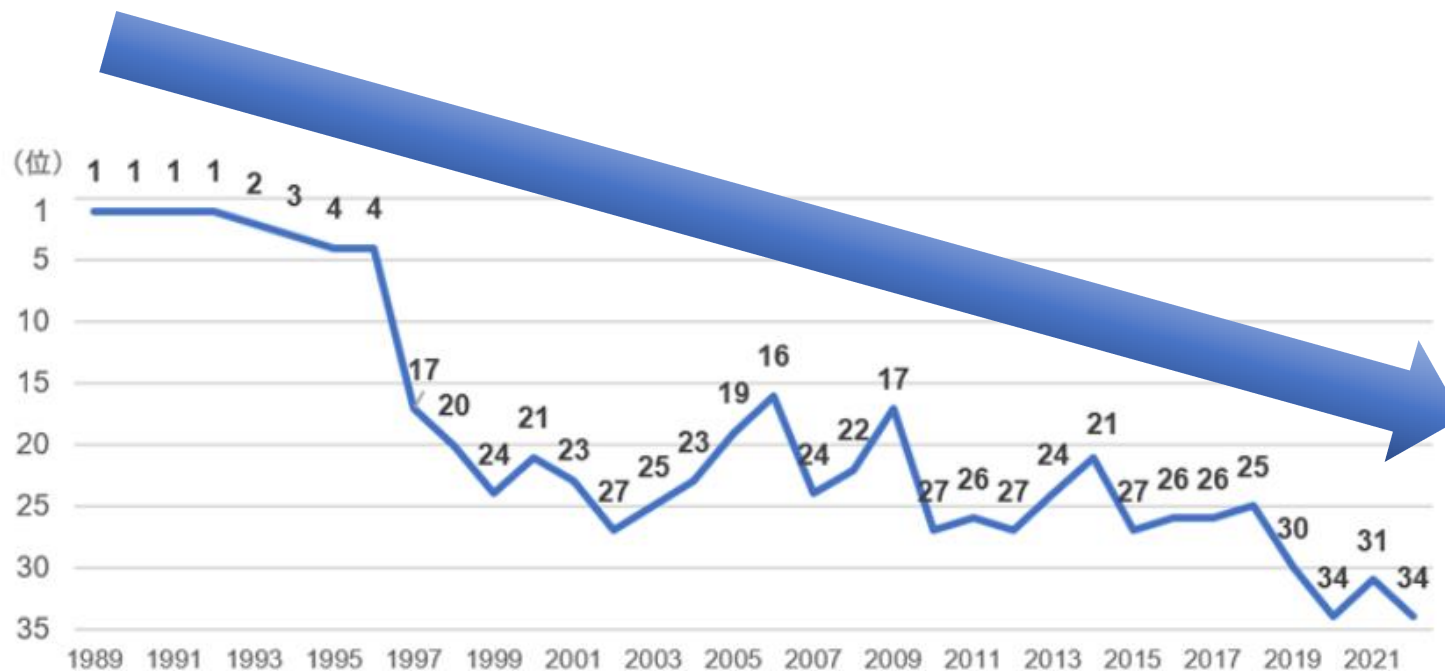
目次

1. スマートシティの概要
2. 津山市の取り組み
3. スマートシティの重要性
4. 事例紹介
5. スマートシティの現状と課題
6. まとめ

4. 先進事例紹介 の前に

世界における日本

世界競争力ランキング：
大項目「経済状況・経済パフォーマンス」「政府の効率性」
「ビジネスの効率性」「インフラ」を評価



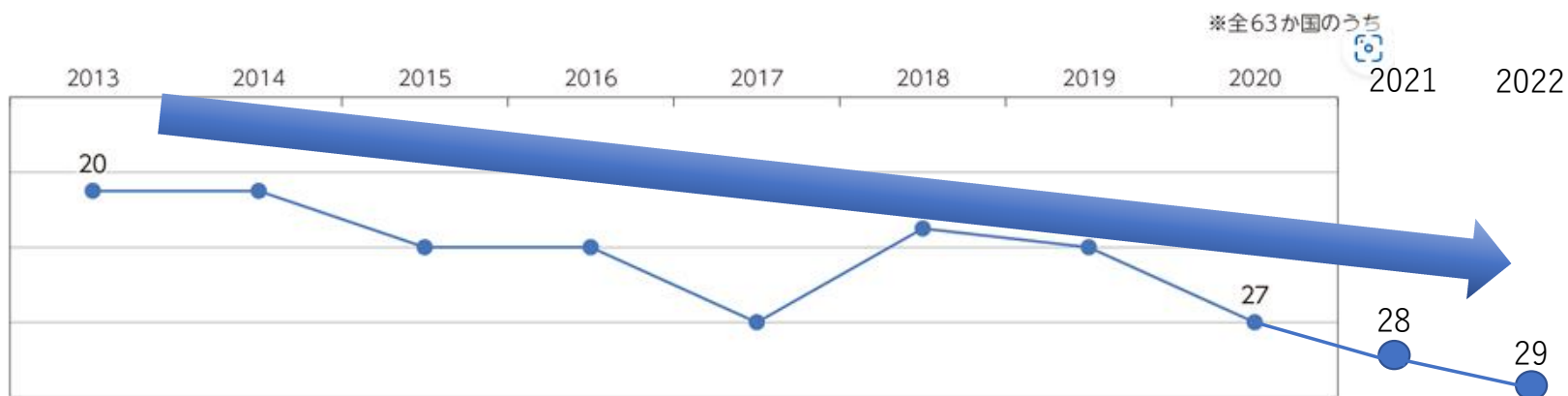
出所：IMD「世界競争力年鑑」各年版より三菱総合研究所作成

2022/6/15時点 日本34位

4. 先進事例紹介 の前に

世界における日本

世界デジタル競争力ランキング：
「知識」「技術」「将来への備え」の3つの要素を評価



総務省令和3年版情報通信白書より

2022/9/28時点 日本29位

4. 先進事例紹介 の前に

世界における日本

スマートシティランキング：

世界の主要都市の市民に聞き取り調査を行い、各都市のインフラ、サービス、テクノロジーなどの分野をAAA～Dで評価しランク付け
(118都市が対象)

ランキング	国名	都市	評価
1	シンガポール	シンガポール	AAA、3年連続1位
2	スイス	チューリヒ	
3	ノルウェー	オスロ	
13	韓国	ソウル	
...			
84	日本	東京	CCC 2019年62位 →79位→84位
86	日本	大阪	63位→80位→86

4. 先進事例紹介 シンガポール

2014年からSmart Nation Singapore

⇒デジタル技術とデータの活用を通じてシンガポールが抱えるさまざまな課題（少子高齢化、経済成長の鈍化、交通渋滞等）の解決、イノベーションの創出および国民生活の向上をめざす政策

- ①Strategic National Projects（戦略的国家プロジェクト）
官民連携のキャッシュレス決済、IoTデータを活用した住民サービス用プラットフォーム
- ②Digital Government Services（電子行政サービス）
事業者向け電子申請ポータル
- ③Startups and Businesses（スタートアップ・ビジネス支援）
Punggol地区で実施されているスマートシティ開発
産官学の連携による新規ビジネスの創出
- ④Urban Living(都市/住民サービス)
高齢者向けの見守りシステムを整備
- ⑤Transport(交通)
公共交通機関における非接触型決済、オンデマンド配車の自動運転バス
- ⑥Health(健康・医療)
ヘルスケア分野におけるロボットや新技術を開発
医療施設の位置や健康に関するアドバイス等を提供するポータルサイト

出典：日立コンサルティングHP



4. 先進事例紹介 シンガポール

- ・ 行政サービスのオンライン化
住所変更や婚姻届などの手続きも市役所などに足を運ぶことなくできる
- ・ 入国の際も、日本で事前に入国カードや健康申告書もオンラインで申請可能
- ・ 政府が無料Wi-Fiを提供
「Wireless@SG」というステッカーが貼られた場所で利用可能。街中のいたるところに貼られていて、日本のように無料Wi-Fiが飛んでいる場所を探す必要なし。
- ・ MRT「Mass Rapid Transit（大量高速交通機関）」という電車や路線バスが市内をくまなく網羅
⇒日本に比べて安価な運賃で移動することができる
うえ、交通省のデータを活用した無料アプリでバスの到着時間を1分単位の精度で確認できる。

- ・ 全国規模のセンサーネットワーク（SNSP：Smart Nation Sensor Platform）の構築で、人や車の動き、気象情報といったデータを集めて渋滞解消や災害防止などに役立てているのも特徴的



4. 先進事例紹介 バルセロナ

スマートシティ先進都市バルセロナに学ぶ。市民を中心とした都市運営の生態学的アプローチ

3月 05, 2020

by 松田共代

in インタビュー

4. 先進事例紹介 バルセロナ

- スマートシティの取り組みを世界でもいち早く導入し、発展
- バルセロナの市内各所にはセンサーが設置され、センサーから得られた情報はシステムで一元管理
- データをもとに、散水・噴水・上下水道システムの自動運転や遠隔操作による水資源の節約、街路灯ごとの明るさや点灯・消灯時間の制御によるエネルギーの効率化、交通渋滞の緩和などを実現
- 歩行者優先のモビリティを実現させる「スーパーブロック」のプロジェクトは注目を集めている
⇒ 碁盤の目状に区分けされた区画の一部を1つのスーパーブロックとし、その内部の道路は地元住民の自動車、自転車、歩行者のみが通行



4. 先進事例紹介 バルセロナ

- スマートシティ実現の成功の鍵
- スマートシティの一連の取り組みが始まったのは2000年代
⇒2011年にトリアス前バルセロナ市長が就任したのをきっかけに、より政治的かつ戦略的な取り組みへ
- まずは、ばらばらに行われていた取り組みの文脈を整理し、スマートシティの取り組みを定義
- 多数の異なるプラットフォームに大量のデータが存在しており、そこからいかにしてバルセロナという都市の運営に有用な洞察を得るかが鍵だった
- テクノロジーを中心に考えるのではなく、市民を中心に据え、その周りにテクノロジーがあるのが理想と考えるようになった
- 有名な「スーパーブロック」は、都市にある建物を壊さずに、人々の導線を変化させる非常に革新的なプロジェクト
- 大学や学生とも協働し、2012年のある週末、スーパーブロックの1つを封鎖する実験を行い、その結果、多くの議論が巻き起こった。大きな関心のうねりは、市政がさらなる実証実験へと動き出すきっかけとなった。
- 常に分析的な観点を持ち、エリアごとのニーズを知り、ニーズに合わせて内容を調整していくことが重要
- バルセロナ市民はモビリティ、住宅などすべてにおける生活改善を目にしているが、その奥にあるテクノロジーまでは気づいていない
- 市民にとっては、今ある課題がどのように解決し、生活の質がどう向上するのかが重要であって、その裏にあるテクノロジーは重要ではない

4. 先進事例紹介 会津若松



- 「スマートシティ会津若松」の取り組みは東日本大震災からの復興を考える中で、コンピュータサイエンス専門の会津大学があるという強みを活かしているという思いから始まった
- 人口減少（若者流出）という課題に対して、地方であっても都市部と変わらない利便性、快適性を目指して魅力的な「まち」にする、そのためにデジタル技術を活用した取り組みを進めてきた

会津若松市が目指す
三方良しの社会とは



4. 先進事例紹介 会津若松

「スマートシティ会津若松」で実現を目指す取り組み

「スマートシティ会津若松」の取り組みでは、幅広い分野において、デジタル技術などの最新技術を活用したまちづくりを進めていきます。「スマートシティ会津若松」のさらなる発展・深化に向けては、「デジタル田園都市国家構想推進交付金」などの国の制度を活用しながら進めていきます。なお、本市で実現を目指している取り組みは以下の通りです。

本市で実現を目指す12分野の取り組み

ヘルスケア	AI活用やデータ分析による医療サービスの実現	モビリティ	市民参加による新たな移動サービスの創出	食・農業	地産地消とフードロスゼロの実現
決済	手数料ゼロのデジタル地域通貨の実現	エネルギー	グリーンエネルギー化と地産地消の実現	観光	データを起点とした地域一体型観光の実現
行政	デジタルとアナログが融合した行政サービスの実現	廃棄物	資源循環型の地域モデルの実現	地域活性化	人とモビリティが共存したまちなか空間の実現
防災	一人ひとりにあった防災サービスの実現	教育	一人ひとりの特性に合わせた子育て・教育の実現	ものづくり	共通プラットフォームによる中小企業の生産性向上

4. 先進事例紹介 会津若松

飲食店の声



ブルーコーズダイニング代表
大久保 宇一さん(河東町広田)

私は実家が農家なので、農家の苦勞を知っていますし、うちのような小規模店では購入する量も少ないので、配達してもらうのも気を使う部分もあったので、今回のサービスの話を聞いたとき、農家さんの負担が減ることが何より素晴らしいと思いました。今まで市場に出回らなかった規格外品でも、例えばスープやソースの材料には十分に使えます。そうした地元産の野菜を割安で使うことができるのは私たちもありがたいし、農家さんも安定した価格で提供できるので、フードロスの削減にもつながりますから。近年はコロナの影響で客足が読めないことも多いので、その日使う分だけ安心して購入できるのは、理想的なサービスですね。



生産者の声



たっくん農園 石井 達也さん(門田町)

令和3年からサービスの実証に参加しています。買う側が作り手の顔が見えると安心するように、作る側もお客様の顔が見えるとうれしいんです。このサービスでは、販路が確保できている安心感もあるし、購入者の声も聞くことができるので、ニーズの把握やモチベーションの維持にもつながります。また、地元の飲食店などの新しい販路を拡大する機会も増えるし、今まで掛かっていた流通コストや規格外野菜の廃棄の量も減るので、そういう意味でもコスト削減や所得向上につながっていると思います。



石井さんの椎茸は、全国品評会で金賞を受賞しました

見込まれる効果

<生産者>

- 新たな販路が増える ことで所得が向上する

<飲食店や旅館など>

- 生産者の顔が見える 安心・安全で新鮮な農産物が、割安で入手できる

<地域>

- 地産地消によって地 域内での流通が活性化し、地域内経済の循環が促進される

4. 先進事例紹介 千葉県柏市



ABOUT ↓
スマートシティ

MEMBER ↓
メンバー

FACILITY ↓
ファシリティ

TOPICS ↓
トピック

NEWS ↓
お知らせ

EVENTS ↓
イベント一覧

CONTACT US ↓
お問い合わせ



KASHIWA-NO-HA SMART CITY

CATEGORY

柏の葉スマートシティが注力する3つのカテゴリー



LIFE SCIENCE

住民の方向けの情報はこちら



MOBILITY

モビリティ →

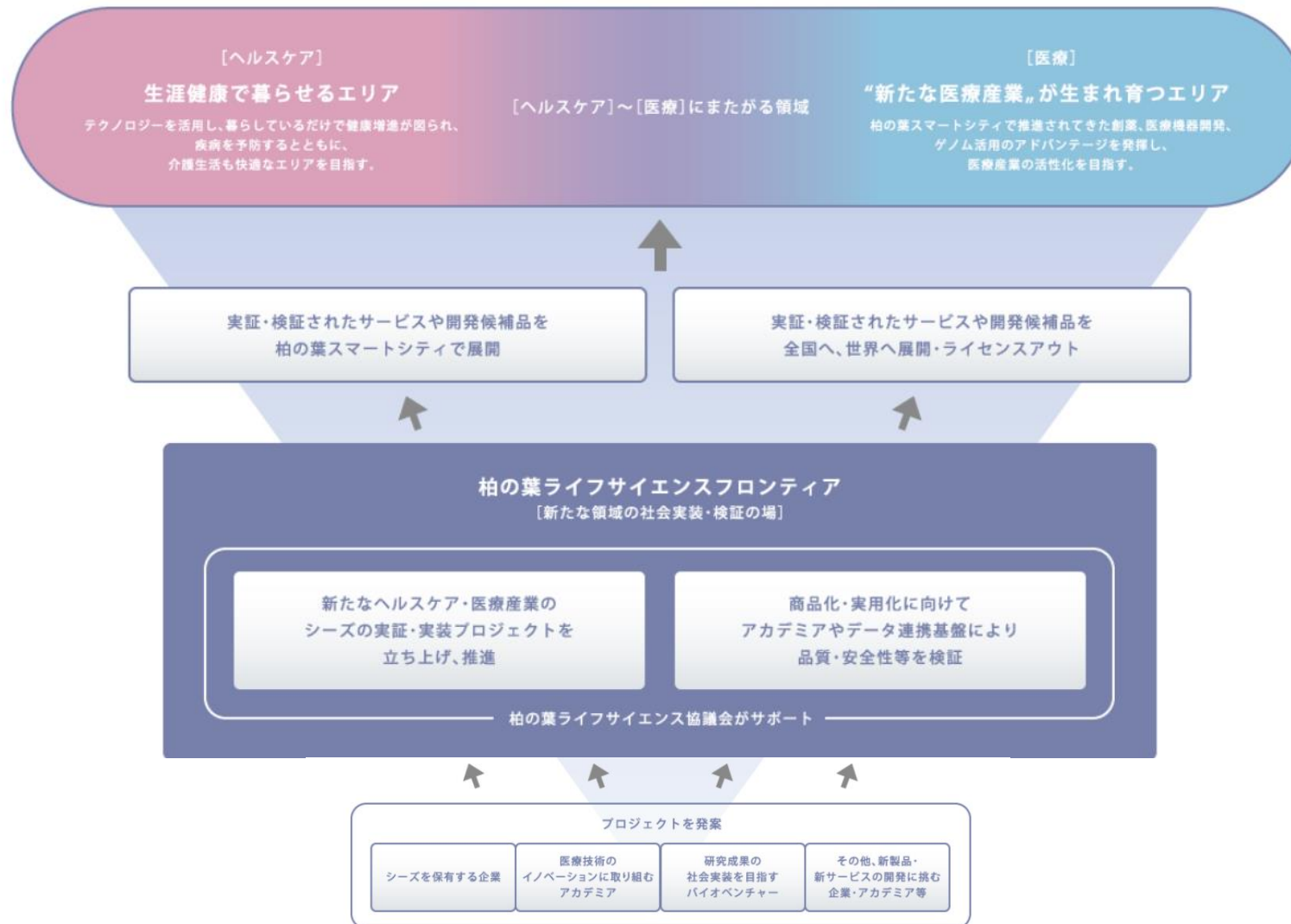


ENERGY

エネルギー →

出典：柏の葉スマートシティHP

4. 先進事例紹介 千葉県柏市



出典：柏の葉スマートシティHP

4. 先進事例紹介 千葉県柏市

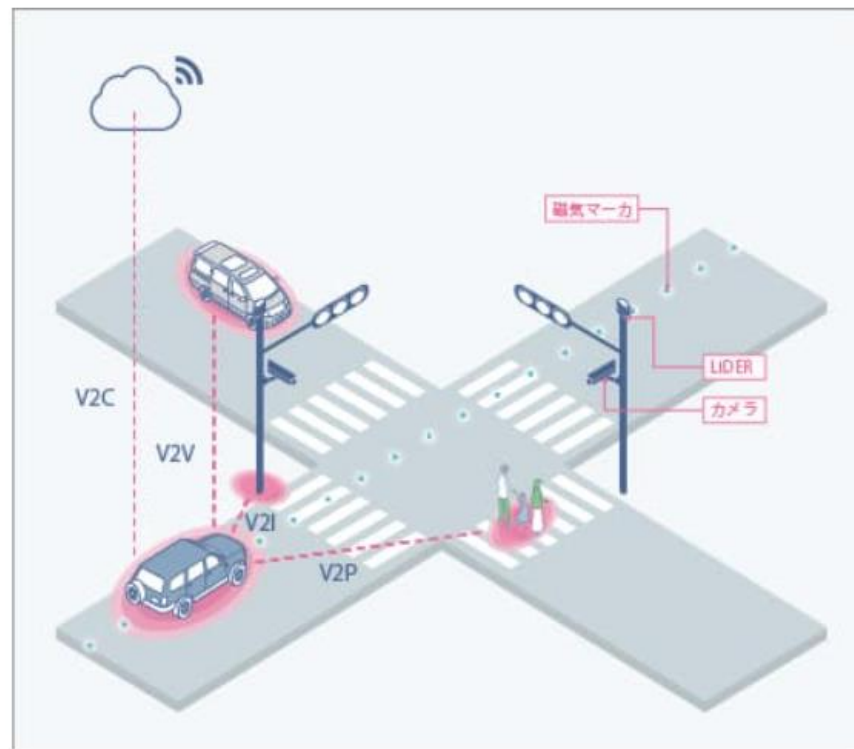
安全な無人運転の実現を目指したインフラ環境を構築

■ 自動運転レベル4を目指すモデル地域に

経済産業省が国土交通省と連携して立ち上げた「自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト」。そのテーマ4「混在空間でレベル4を展開するためのインフラ協調や車車間・歩車間の連携などの取組」を担うモデル地域のひとつに、柏の葉地区が選定されました。東京大学を中心に、無人自動運転の実現に向けた取り組みが始まっています。

■ 協調型システムの検討・検証を推進

長期にわたり自動運転バスの公道実証実験を重ねてきた「柏の葉スマートシティ」には、LiDAR搭載信号機や通信技術V2Xなどの協調型システムが装備されています。今後もさらに協調技術の研究開発を進め、インフラ協調型システムの社会実装を目指します。



出典：柏の葉スマートシティHP

目次

1. スマートシティの概要
2. 津山市の取り組み
3. スマートシティの重要性
4. 事例紹介
5. スマートシティの現状と課題
6. まとめ

5. スマートシティの現状と課題

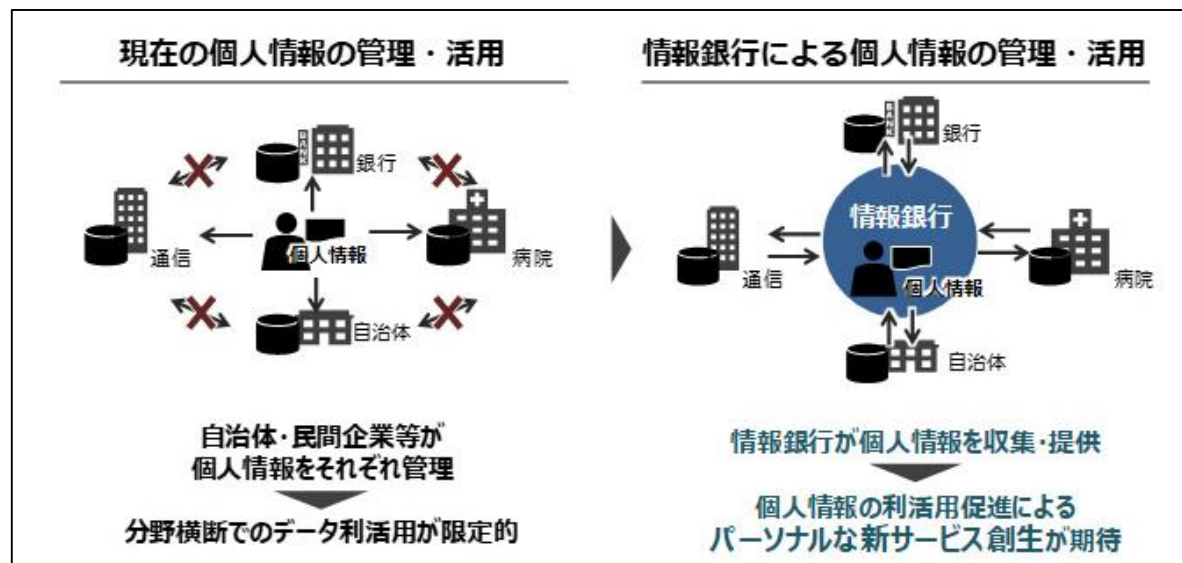
- 2010年頃から世界中で取り組みが広まっているが、個別分野での技術主導の取り組みが多く、都市全体・住民視点での課題解決に至っていないケースが多い
- 多くのプロジェクトが実証実験の域を脱しきれず、継続的運用できるビジネスモデルを構築できない
- 地域の産官学のステークホルダー連携が必要
- 分野を超えたデータ利活用基盤が必要
- 地域住民から反対の声があがるケースもある

一方、世界の先進的なスマートシティ構築事例の共通点として

- 政府が積極的に関与、出資している点がある

課題解決の方向性

- 分野横断型のスマートシティの構築では、住民、自治体、民間事業者など多種多様なステークホルダーの共通認識構築が必要
- 協調領域と競争領域の明確化
⇒政府のタスクフォースにおいて線引きされることが期待される
- パーソナルデータの利活用促進
⇒安心・安全な情報銀行 →
- 制度・規制改革
⇒韓国では規制によりスマートシティプロジェクトの失敗事例があったため2017年より法改正
- スマートシティ構築と住民参加
⇒技術・システム導入と住民参加の両輪が不可欠

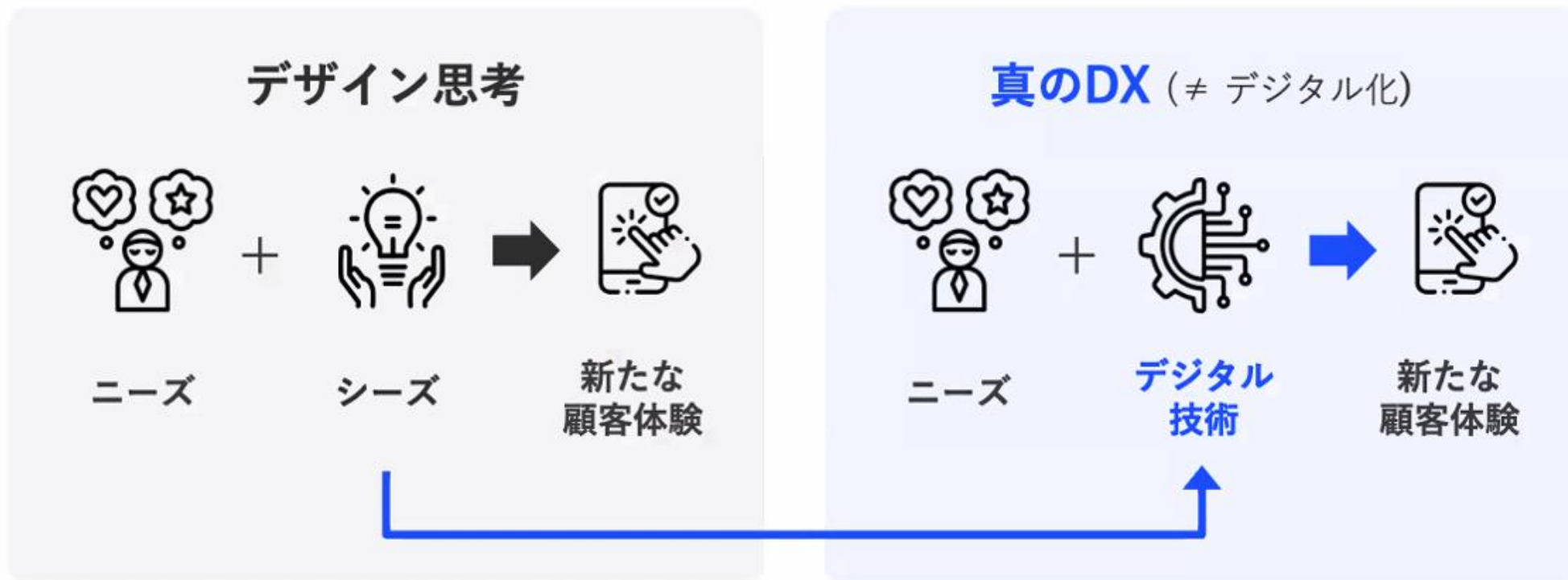


DXとスマートシティの共通点

- ・ 最近あまり聞かなくなったDX
もはやデジタル活用はあたりまえ
競争力向上のためにDX取り組まない企業はほとんどない
⇒ 変革の先にある新規事業は社会課題解決
- ・ DXにおいても以下の点は重要だった
 - ・ 利用者目線のデザイン思考
 - ・ 産学官連携
 - ・ 自分事化

利用者目線のデザイン思考

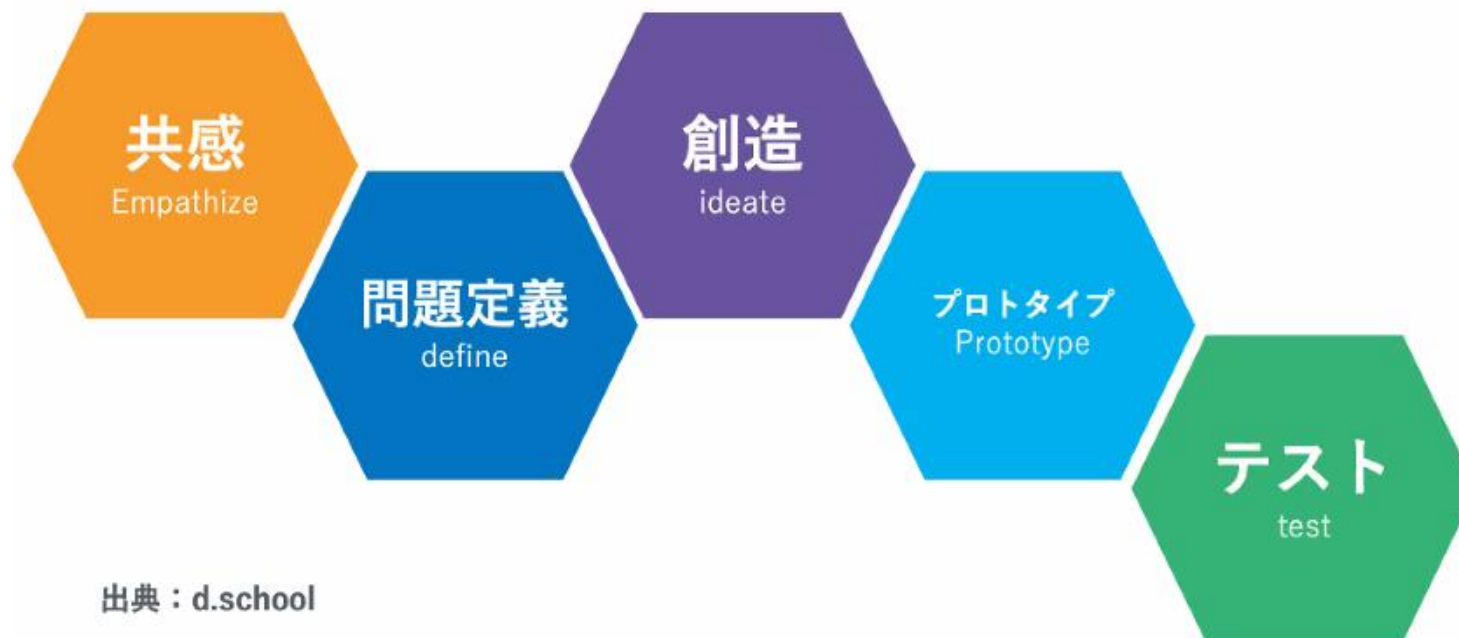
- DXはデジタル技術を使ったデザイン思考



DX = デジタル × デザイン思考

利用者目線のデザイン思考

デザイン思考の5つのステップ



出典：d.school

産学官連携 つやま産業支援センター

- 社会課題の解決を目指すスマートシティは産官学連携が重要

TSUYAMA BIZ つやま産業支援センター

[センターについて](#)

[支援・補助金](#)

[お知らせ](#)

[プロジェクト](#)



産学官連携 つやま産業支援センター

つやま産業支援センターの使命

つやま産業支援センターは地域企業との対話を重視し、経営者との信頼関係を築き、**未来を切り拓く意欲ある地域事業者を支援することで、魅力ある雇用を創出し、地域経済の活性化に寄与する。**



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



8 働きがいも
経済成長も



4 質の高い教育を
みんなに



事業基本方針

1. 企業の経営力強化
2. 創業・新事業の創出
3. 人財育成
4. 地域産業の強化・BCP構築

11 住み続けられる
まちづくりを

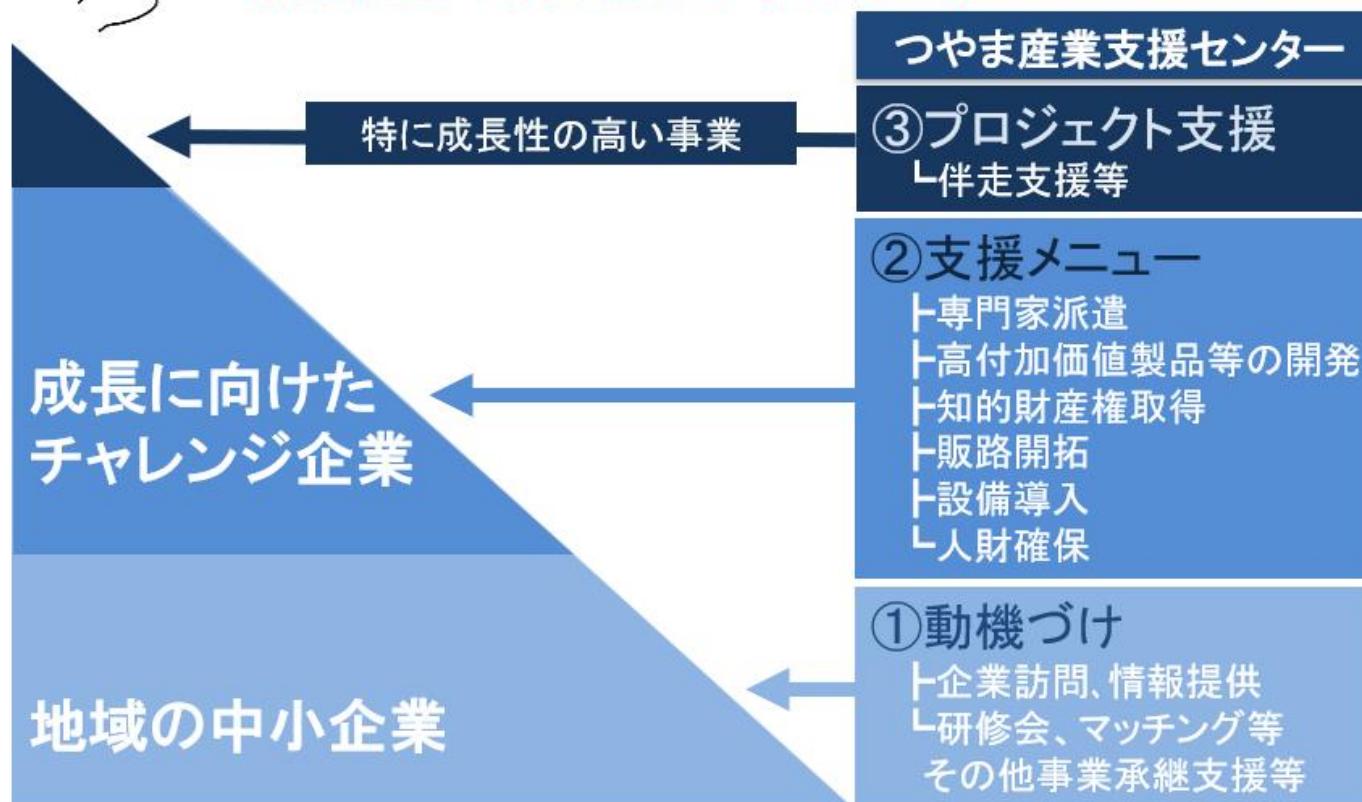


産学官連携 つやま産業支援センター

① 企業の経営力強化 個社支援スキーム



機会は公平、支援はチャレンジャーへ集中



金融機関・支援機関 会議所、商工会、財団等・大学・高専

産学官連携 つやま産業支援センター

2

創業・新事業の創出

オープンイノベーション

異業種連携

地域企業、専門家が集まり
業界を超えて商品開発で連携

プラットフォーム



開催日	参加者
①H27.9.18	44名
②H27.12.4	67名
③H28.3.10	82名
④H28.5.24	93名
⑤H28.9.7	81名
⑥H29.2.1	86名
⑦H29.6.30	89名
⑧H29.11.28	84名
⑨H30.6.6	91名
⑩H30.11.7	78名
⑪R1.11.21	68名
⑫R2.10.23	65名
⑬R3.11.26	56名

産学官連携 つやま産業支援センター

② 創業・新事業の創出 オープンイノベーションの例

有限会社 ファイン アート
かわばた

ファイバーシート
天井システム

× (株) アイカメカシステム

× 独立行政法人国立高等専門学校機構
津山工業高等専門学校
National Institute of Technology, Tsuyama College

× 太啓建設株式会社

「新発想」の天井で
安心に包まれた
快適な空間演出を

【導入実績】



アップルストア



岡山中央中学校



TOYOTA

トヨタ自動車中央研究所
トヨタ



愛知工大防災研究センター

出典：つやま産業支援センター紹介資料

産学官連携 つやま産業支援センター

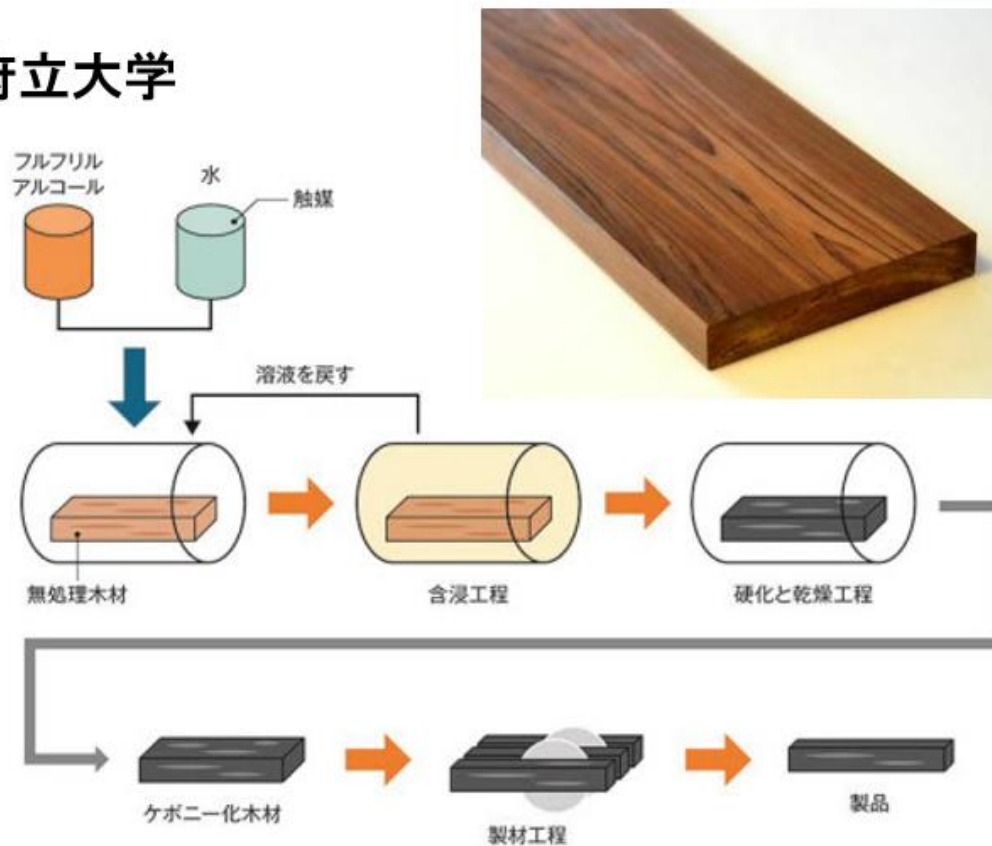
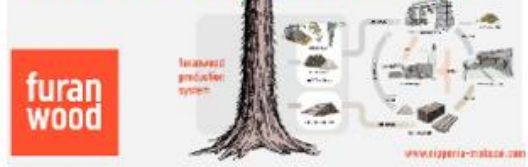
② 創業・新事業の創出 オープンイノベーションの例

フランウッド(株)×京都府立大学

木材は成長する過程で二酸化炭素を吸収。伐採された後も燃やしたり腐らせたりしない限り炭素を固定し続けます。

carbon revolution

森も街も美しく。フランウッドが描く脱炭素からはじまる社会変革—



産学官連携 つやま産業支援センター

③ 人財の育成

リカレント、リスキリング就業サポート

津山まちなかカレッジ	H29	H30	R1	R2	R3	R4
講座回数	98	235	205	135	126	169
受講者数	1,350	2,558	1,710	1,156	1,322	1,437
就業者数	21	48	41	49	88	78



産学官連携 つやま産業支援センター

4

地域産業の強化・BCP構築

メイドイン津山プロジェクト

MADE
IN
TSUYAMA 

地域の
下請型
中小企業
【アパレル】

(株)笏本縫製

(有)内田縫製

(有)末田工業所



つやま産業支援センター

① 専門家やコーディネーターによる製品開発伴走支援

② アンテナショップや大都市圏の百貨店等での催事による販路開拓支援

産学官連携 つやま産業支援センター

4 地域産業の強化・BCP構築

メイドイン津山プロジェクト

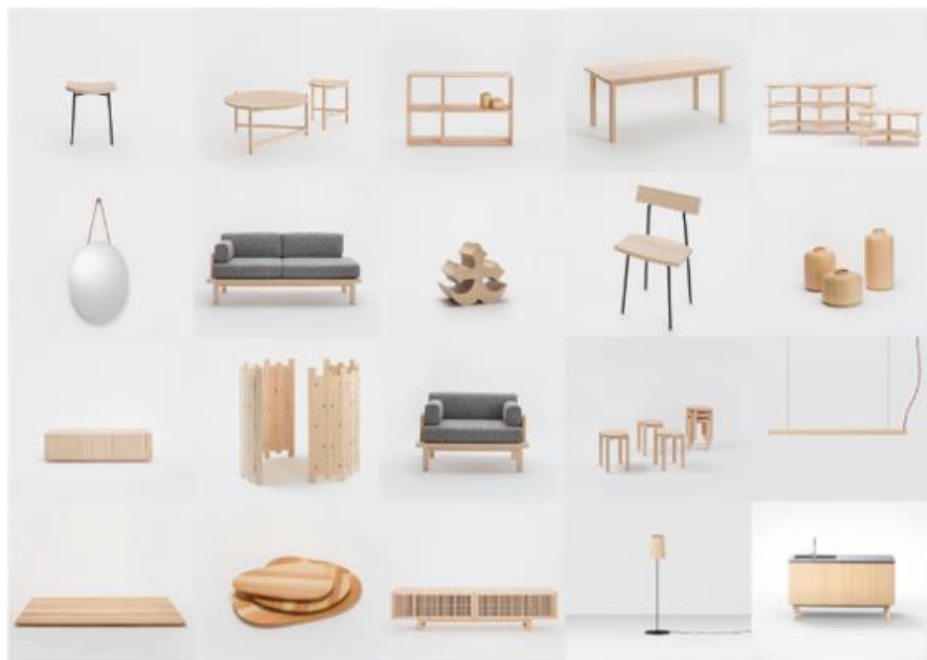


TSUYAMA FURNITURE

津山家具

杉・桧を用い循環型社会を目指した家具開発

 GOOD DESIGN AWARD



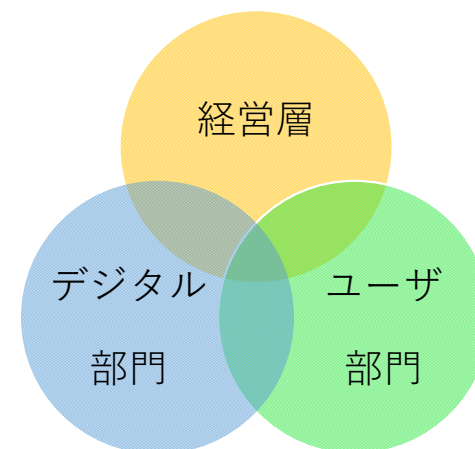
自分事化

DXは関係者が多いので「人のせい」にするのが簡単

- ・ 経営層が指示しないから
- ・ デジタル部門が積極的に提案しないから
- ・ ユーザ部門が協力的でないから



目の前の問題は
全て自分事という立場に立つ



必要なのは自分事化

- ・ やらされ感ではなく、「私のプロジェクト化」
- ・ 自分たちが楽しそうに進めていると、自然と周囲の興味を引くことができ、協力を得やすくなる

推進力のある状態



- ✓ 「何のために」「何を旨指す」のか、語れる
- ✓ 「そうになりたい！」と全員が思っている

引用元：
ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ
「抵抗勢力との向き合い方」

自分事として手を挙げる

共通の考え方

自ら手を挙げた人に機会を提供する



ソフトバンク社
持続的に成長し続けるための人事戦略

リーダーとフォロワー



日本が変わるスイッチが入っている映像 - 裸の男とリーダーシップ - YouTube

リーダーとフォロワー

**そもそも一人ではリーダーもただの変な人
最初のフォロワーが変人をリーダーに変える**

リーダーとフォロワー

2030年までに人類を火星に移住させる

リーダーとフォロワー



イーロンマスクも一人で言っているだけなら変な人

6. まとめ

- スマートシティは持続可能な社会のために必要な構想
- 取り組む企業にとっても今後のビジネスチャンスとなる他
メリットも多く、取り組む価値がある
- スマートシティ推進には政府、自治体、企業、市民が自分事
として積極的に考える姿勢が不可欠

ご清聴ありがとうございました